

認知症患者向けCD「みんなのころのうた」を特別養護老人ホーム等に寄贈

当社は2007年1月、お年寄りの認知症の患者さんやそのご家族、介護団体、ボランティアで活動している人たちの為に、昭和の愛唱歌等を収録したCD「みんなのころのうた」を制作し、介護事業会社を通じて全国の特別養護老人ホーム等に寄贈しました。

ある民間団体の調査によると、認知症障害を抱えている人たちに、彼らの記憶に残っている歌を聴かせたり歌ったりする事で回復を図る療法を取り入れているケースが増えています。ただ、これらの楽曲をまとめた形で入手するすべがなく、第一線で活動している方々か

ら、これらの作品をまとめてCD化する事はできないだろうかと要望が当社に寄せられました。こうした要望に対して少しでもお役に立てばという思いで、これらの楽曲を新たにレコーディングし、CDを制作。5,000枚をNPO法人ミュージックセラピーを通じ、全国の特別

養護老人ホーム等に配布しました。若い世代を中心にエンタテインメントをお届けしている当社が、音楽という共通言語を通じて、身近な問題に取り組み、その一助となるかも知れないCDアルバムをお届けできたことは大変意義のあることだと考えています。



収録曲

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 春の小川 | 8. 二人は若い |
| 2. おぼろ月夜 | 9. 隣組 |
| 3. 雨降りお月 | 10. お富さん |
| 4. 故郷の空 | 11. 北国の春 |
| 5. 赤とんぼ | 12. ハッピーバースデー |
| 6. リンゴの唄 | トゥュー |
| 7. 青い山脈 | |

※各曲のカラオケも収録

実際にCDを使用した老人ホーム職員の声

- 利用者の皆さん、懐かしいと言って喜んでいました。ありがとうございました。
- スローテンポで入居者の方々に好評でした。口ずさんでいる方もいらっしゃいます。
- 音の良さと、声のきれいなものにびっくりしました。「懐かしか〜！」という反応が一番多かったです。
- デイサービス訪問で「二人は若い」と「隣組」を歌いました。36名の参加者が、口々に「なつかしいー！たのしいー！うれしい！」と喜ばれました。これからもCDの中の歌をわかるがわる歌ってみたいと思います。本当にありがとうございました。大切に、たくさん使わせていただきます。

キッズニア東京にパビリオンを出展

当社は、株式会社キッズシティー・ジャパン（東京都千代田区、以下「キッズシティー・ジャパン」）が、2006年10月にオープンしたキッズニア東京（東京都江東区）にパビリオンを出展しました。

当社では、運営するエンタテインメントスクール、エイベックス・アーティストアカデミー（東京都渋谷区）におけるキッズコースの開講、夏の野外ライブ・サーキット「a-nation」における



キッズダンサーやシンガーがパフォーマンスを披露する「KIDS-nation」の開催、メンバー全員が小学生のヒップホップグループ「FONK」のプロデュースなど、「キッズ」をキーワードとした事業展開を行って来ました。こうした状況のもと、今回のキッズシティー・ジャパンの趣旨に賛同し、キッズニア東京への参画が決定しました。

パビリオンの概要

- **パビリオン名:** ライヴステージ
- **職業体験内容:** 大型スクリーンに映し出される観客のライブ映像の前でパフォーマンスを披露し、アーティストという職業を体験します。プログラムではエイベックスに所属するアーティストの楽曲を使用しています。

キッズニアとは

キッズニアは、子供たちが様々な仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる新しい形のエデュテインメント*です。仕事を体験した子供たちは、キッズニア独自の通貨「キッソ」で給料が支払われ、これを使ってショッピングや様々なサービスを受けることができます。
*エデュケーション（学び）+エンタテインメント（楽しさ）

本年度も aoyama christmas circus を開催

情報・流行の最先端である青山通りを冬のクリスマスシーズンの名所にすることを目指して、2003年より毎年、地元地域の皆さんとともに開催するイベント aoyama christmas circus を本年度（2006年11月26日～2006年12月25日）も開催しました。

高さ31メートル、総電飾数30,000個の巨大ツリー「star☆fountain」を本社ビル前に制作し、アーティストによるライブイベント等を開催しました。なお、ツリーやライブイベントの使用電力に関し、日本自然エネルギー株式会社（東京都中央区）より購入した風力等、自然エネルギーを利用しています。



エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
コーポレート企画本部 広報・IR室
〒107-8577 東京都港区南青山3-1-30
TEL 03-5413-8508 URL <http://www.avex.co.jp/>



avex smile news

2007



avex smile とは？

「エンタテインメントを通じて、笑顔を創りたい」という思いから始まったエイベックスの新プロジェクトです。株主、ユーザー、取引先、従業員といったステークホルダーのみならず、あらゆる人々の笑顔を創り出せるよう、地域振興やエコロジー活動等、幅広い展開を行っていく予定です。

a-nation '06 powered by ウイダー inゼリーにおける取り組み

大型野外ライブ・サーキット「a-nation '06 powered by ウイダー inゼリー」において、当社は環境面や社会面において、以下のような取り組みを行いました。



● 会場周辺清掃

当社スタッフは、東京公演（味の素スタジアム）にて清掃活動を実施しました。清掃会社のスタッフの指導を受け、終日会場周辺の道路清掃、会場及びコンビニエンスストアのゴミ箱のゴミ回収にあたりました。

● 中越地震被災者のご招待

2006年7月29日（土）、新潟会場（国営越後丘陵公園野外特設会場）にて、新潟県中越地震のため、仮設住宅での避難を余儀なくされている旧山古志村住民の皆様全員（約600世帯、1,900名）を対象にご招待しました。

● 車椅子ご利用のお客様への配慮

a-nationでは、車椅子をご利用の方々がスムーズに移動できるよう、可能な限り、会場内の段差を減らしています。また、車椅子をご利用の方々の団体をご招待。炎天下のイベントということもあり、テントを設け、ドリンクサービスを行いました。



● エコバッグ配布

来場者全員にエコバッグを配布。ゴミをエコバッグに入れて持ち帰るよう、呼びかけました。会場内はもちろんのこと、会場周辺のゴミに関しても、来場者が持ち帰る姿もあり、試みとしては成功したと考えています。



● エコステーション設置

会場内にエコステーションを配置、エコTシャツを着たエコガールが来場者に分別を呼びかけました。



a-nation とは

2002年の第1回開催以来、毎年20万人以上動員する国内最大級の野外ライブ・サーキット。5回目を迎えた2006年も、特設ステージによるライブを、全国5会場7公演で開催。1枚のチケットで何組もの豪華アーティストのライブパフォーマンスを楽しめる a-nation は、毎年確実に進化を遂げ、今後も新たな感動と興奮を皆様にお届けしていきます。

携帯電話向け違法音楽配信根絶に向けた諸施策の検討・実施

当社は、携帯電話事業者や音楽権利団体等と密に連携し、急増する携帯電話向け違法音楽配信根絶のための本格的な検討を開始、違法行為の根絶並びに「音楽創造のサイクル」維持に向けた継続的かつ積極的な啓発活動の実施等を行っています。

● 経緯

2002年12月、新しい音楽の楽しみ方の提案として、関係各社が協力し、携帯電話向け音楽配信がスタート。音楽配信市場は毎年拡大傾向にあり、その9割以上が携帯電話向け配信によります。しかしながら、2005年夏頃より、市販の音楽CD等から作成した携帯電話再生用の音源を権利者の許諾なく無料で携帯電話ユーザーに公開するケースが急増してきました。この行為は、明らかな著作権違反で、刑事罰等の対象であるため、当社も加盟する社団法人日本レコード協会（以下、RIAJ）が中心となり、

音楽関係権利者6団体及び携帯3キャリアと共に、携帯電話向け違法音楽配信根絶のための本格的な検討を開始しました。

● ユーザーへ向けた啓発活動

2006年12月より、上記協議体にて携帯電話向けの違法な音楽配信に関する広報活動をスタート。「違法サイトにてダウンロードしない」「違法なアップロードをしない」ことをユーザーに対してPRしていきます。

● 違法ファイルについての送信防止措置要請

当社も加盟するRIAJと社団法人日本音楽著作権協会（以下、JASRAC）は、2006年11月末現在までに、11.2万件に上る違法ファイルについて、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置要請を、プロバイダに対して行ってきました。今後も、送信防止措置要請をより一層強化していきます。

● 違法行為者に対する法的措置

当社は今後、RIAJ及びJASRACと連携し、悪質な違法行為者に対する刑事・民事上の法的措置をすすめていきます。

● 「Respect Our Music」キャンペーンの実施

当社は音楽関係権利者6団体と共に、音楽を正しく聴くことの大切さを広くユーザーの皆様にご理解頂くために、2002年秋より取り組んでいる著作権啓発キャンペーン「Respect Our Music」を継続的に実施していきます。

正当な対価が支払われなくなると、権利者は音楽制作のための資金がなくなり、世の中に新たなコンテンツが生まれなくなります。

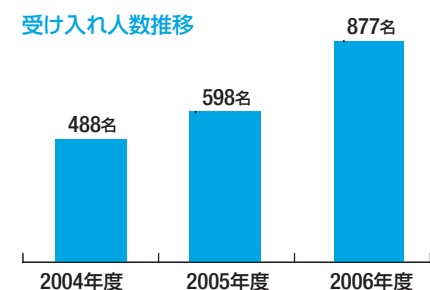


中学生・高校生の職場訪問受け入れ

当社では、「総合的な学習」の一環として職場訪問を希望される中学生・高校生の訪問を受け入れており、当社の事業内容や従業員の業務等について映像資料等を使用し、紹介しています。

エイベックス・グループの特色やエンタテインメント業界環境、音楽・映像コンテンツがどのようにして創られ、どのようなプロセスでユーザーの手に届くか、といった疑問に答えるとともに、「職業としてのエンタテインメント」の魅力を伝えています。

ユーザーの手に届くか、といった疑問に答えるとともに、「職業としてのエンタテインメント」の魅力を伝えています。



所属アーティストAAAが横浜税関にて1日税関長

2006年11月28日、当社所属アーティストAAA（トリプル・エー）は、横浜税関が実施した「海賊版・還流レコード撲滅キャンペーン」に参加しました。

同イベントは、海賊版や還流レコードを含めた知的財産侵害物品を日本国内に持ち込まないよう啓蒙することを目的とし、AAAはこの日、1日税関長として迎えられました。

「多くの国民に海賊版CD・DVD、還流レコード、偽ブランドなどの知的財産侵害物品を『日本に持ち込まない、買わない』ことをPRしたい」と抱負を述べたのち、海賊版や偽ブランド品等が展示されている税関資料室を視察。

キャンペーン会場をクイーンズスクエア横浜に移し、海賊版の撲滅などを訴えた後、ミニライブ＆トークショーを実施しました。当日は平日にも関わらず、会場にたくさんの来場者があり、実際に音楽CD等を購入する若年層に対し、広報効果の高いキャンペーンを開催することが出来ました。



海賊版とは

音楽やアニメ作品などを、その権利者の許諾を得ないで勝手に製品化した違法な商品（CD、DVD等）をいいます。

還流レコードとは

外国で販売されているCD等で、日本国内での販売が権利者により禁止されているものをいいます。

commonsの環境に配慮した展開

2006年11月、株式会社キャブ（東京都港区）と共同設立した新レーベル「commons（以下、コモンズ）」では、CDジャケットや歌詞カードに再生紙100%を使用しているほか、CDを収納するトレー部分に、土に返りやすいスウェーデンの樹木を原料にするなど、環境に配慮した展開を行っています。

販売促進に使用する印刷物等に関しても、ペットボトル再生紙やペットボトル再生布を使用し、インクはゴミとして埋め立てても、地中で分解しやすいものを使用しています。

また、commonsオフィスの電力は全て、株式会社自然エネルギーコム（東京都中野区）より購入した太陽・風力・地熱といった自然エネルギー（ENERGY GREEN）を利用しています。



コモンズとは

坂本龍一氏（株式会社キャブ所属）をはじめ、アーティストが音楽の新たな可能性を模索すべく、当社グループとともに設立したレーベルです。「think global, act local」を合言葉に、エコロジカルな視点を持ち、社会・文化貢献を目指す新しい音楽コミュニティとして、アーティスト/クリエイター、音楽産業、ユーザー/リスナーのよりよい関係を作るための「commons（共有地）」となることを目的としています。共有地の中心にmusic（音楽）が存在し続けることを願って、3つの「m」の「commons」と名付けました。

